

大阪市会本会議、怒りを膨張させて傍聴

15日14時からの本会議を傍聴した。委員会の傍聴を続けてきたが、本会議は久しぶりだ。ダラダラと報告が続いたが、建設港湾委員長の報告で目が覚めた。

議案79号令和5年度港営事業会計予算、大阪IR用地対策788億円の債務負担行為は委員会で可決されたので、私が提出した陳情は一事不再議により議決不要と。まず、これで怒りが湧いてきた。

レポートしてきたように、2・3月市会(定例会)に際して、1月19日に「基本合意書」開示を求めて陳情書を提出した。債務負担行為の見直しを求めて、2月24日にも陳情書を提出。さらに3月3日には「議長要望書」を初めて提出した。維新・公明に反対され、効果も見込めないと思いつつ、やれることを私なりにやってきた。本会議を傍聴して、すこしは影響があったのではとも思った。

自民の森山議員から債務負担行為の修正動議。夢洲の土壌問題により認可もされていないので、補正予算として提出すべきだと発言。維新の坂井議員か、夢洲の土地所有者、IR用地貸主の責任があると述べ、修正案に反対意見。自民の川嶋議員がまだ認可されていない夢洲の現実、基本合意書を開示させて、議会として再度しっかり議論すべきだ。市民を騙し討ちしてよいのか、なぜ議論を避けるのかと修正案に賛成意見。共産の井上議員は、市民生活を犠牲にする大規模開発予算案に反対意見を述べた。その後、5年度予算案と債務負担行為は維新・公明などの賛成多数で可決された。

議員提出議案第9号大阪IR誘致の住民投票について、自民の山本委員が情報が隠された中で債務負担行為が決定されるなど、市民の賛否を直接問う必要があると。これに維新の原口議員が住民投票は議会の責任放棄であり、断固反対を表明。自民の福田議員は議会がチェック機能を果たさず、追認機関になっているので、問題のあるIR誘致の住民投票に賛成意見を述べた。これも維新・公明の反対多数により否決された。

このあと4月に退任する松井市長が挨拶。自らの「成果」を自賛して、議会は政党により政策を実現する場であり、維新と公明の協力により市政を運営してきたと述べた。腹が立ち、思わず大きな声を上げそうになった。

本会議を傍聴していて、つくづく維新の議席の多さを痛感した。本来、議会には市長をトップとする行政機関をチェックする役割があるはずだ。松井市長をはじめ維新議員は、議会を追認機関、行政応援団、自己宣伝の場として考えているようだ。

本会議を傍聴して、つくづく維新の議席の多さを痛感した。本来、議会には市長をトップとする行政機関をチェックする役割があるはずだ。松井市長をはじめ維新議員は、議会を追認機関、行政応援団、自己宣伝の場として考えているようだ。

(2023年3月17日)



2月	2(木)	< 招集告示 >
	9(木)	< 開 会 >本会議
	15(水)16(木)17(金)	常任委員会
	22(水)	本会議
3月	1(水)	本会議【代表質問】
	2(木)	本会議【代表質問】
	3(金)	常任委員会【予算説明】
	6(月)7(火)	常任委員会【予算質疑】
	8(水)9(木)	常任委員会【予算質疑】
	14(火)	常任委員会【予算態度決定】
	15(水)	本会議< 閉 会 >